

3.8.1



町長選挙の結果と今後の町政
① 6月2日に行われた町長選挙の結果をどのように受け止めているか。また、② 今後の重点施策の中で、バランスのとれた農業、商業、工業の振興とあるが、とりわけ、米の減反や輸入自由化に対し、どう考えているか。

① 多くのみなさんの支持をいただき、町政を担当させていただくことになったが、今回の選挙において、厳しい審判があったと考えている。これは住民意識の強いあらわれと謙虚に受け止め、今後の町政執行にあたりたい。
② 減反施策は稲作農家の育成のための施策であるので遵守したい。米の輸入自由化につ

いては、一部自由化も含めて反対である。

東陽病院へのアクセス整備

④ 6月17日、新東陽病院がオープンした。

光町側には立派な進入路ができたが、横芝側にはない。

横芝堰（東陽病院の南側で栗山川にかかる橋）を拡幅すべきと思うが。

③ 救急医療体制と住民の利便を考えると、病院までのアクセスとしての道路整備は、だれが必要と思っている。しかし、横芝堰の通路は、施設（堰）の管理用として設けられているもので、「堰」は千葉県が、「川」については



建設省が管理している。

現在、建設省において栗山川の改修をすすめているが、この改修計画の中に、横芝堰の改修も盛り込まれているので、早期実現に向けて強力に要請していく。

県道の整備計画
④ 町の発展に道路の整備は欠かせない。千葉県がすすめている「さわやかハートちば5か年計画」の中で、町内にある県道整備はどうすすめられるか。

③ 町産業の動脈ともいえる道路の整備は、町としても積極的に取り組んでいる。とりわけ

横芝堰の強い要望の強い拡幅してほしい

け県の計画の中では、①横芝山武線の改良（木戸台〜中台の急カーブの改善）

②横芝下総線の改良（坂田池〜国道126号線のバイパスについての

計画案策定）

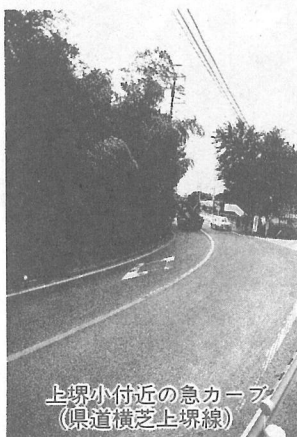
③横芝上界線の改良（上界小付近の急カーブの改善）

④飯岡一宮線の改良（海の子どもの国〜屋形橋）が明らかになっている。

自治会規約の統一を

④ 都会から転入した人と昔から住んでいる人との間に、自治会運営の面で意見の食い違いがあるようだ。時代にそぐわない規定もあると思われるので、各自治会の規約の統一が図れないか。

③ 町内には81の自治会があり、各自治会は、それぞれが地域の実状にあわせて運営されていると思う。したがって、行政の立場で、一方的に規約を統一しようとするれば、自主



急カーブの急カーブ（県道横芝上界線）

的な運営が妨げられることとなり、好ましいことではない。役場の仕事に關することであるならば、意見調整のうえで対処したい。
国保世帯の税の軽減を
④ 国保会計の積立金は3億円を超え、近隣の町村と比べて突出している。この積立金を有効に活用し、国保に加入している人の税負担を軽くできないか。
③ 積立金が増えた原因は、①ここ2〜3年間に於いて（大総地域の開発等に伴う）譲渡所得の伸びが大きかったこと。また、②半面、医療費が低く抑えられたことにより、積立金が増えたものだ。税の軽減を遠ざけているのではない。これからの医療の動向や税収を見極めながら、税の軽減を検討したい。